

シェーディング補正

レンズの性能やケラレ等によって発生する「周辺光量の低下」を補正する事ができます。
レンズの特性にかかわらず、像高に対して一定の補正を掛けるだけでなく、レンズの特性を用いる事で非線形な光量低下についても、ほぼ完全に補正する事が可能です。



※ 本画像はレンズ特性を考慮しない、一定量の補正を行ったサンプルです